

2021年度 事業報告

〔 自:2021年4月1日
至:2022年3月31日 〕

一般財団法人つくば市国際交流協会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2021年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位:人)

役員		職員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(派遣職員)	1
常務理事	0	総務課	2
理事(非常勤)	9	総務課(派遣職員)	1
監事(非常勤)	2	総務課(会計年度任用職員)	2
		外国人相談員(非常勤嘱託職員) 2021年9月30日まで	4
		印紙証紙売りさばき所(会計年度任用職員)	3
計	12	計	13

(2) 評議員会

第1回評議員会(2021年6月9日)(ZOOM)

- (ア) 2020年度計算書類について承認
- (イ) 理事・評議員の選任について承認

(3) 理事会

第1回理事会(2021年5月24日)(ZOOM)

- (ア) 2020年度事業報告及び計算書類について承認
- (イ) 評議員会招集について承認

第2回理事会(2021年10月6日)(ZOOM)

- (ア) 2021年度の進捗状況及び課題について協議
- (イ) 2022年度事業計画の方針について協議
- (ウ) 理事長による職務執行状況の報告

第3回理事会(2022年2月21日)(ZOOM)

- (ア) 2022年度事業計画及び収支予算書について承認
- (イ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (ウ) 理事長による職務執行状況について報告

臨時理事会(2022年3月22日)(決議の省略)

- (ア) 一般財団法人つくば市国際交流協会の事務所移転先及び移転時期の承認について

2021 年度事業計画（方針）

つくば市国際交流協会は、平成 25 年(2013 年)2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し 8 年目を迎えようとしております。

2020 年9月1日現在、つくば市には 138 か国 9,590 名の外国人が居住しており、近年はベトナム、インド、フィリピン国籍者数が増加しております。

また、発足当初から実施してきました「外国人のための相談室」事業につきましては、従来からの利用者減少のため、市と相談の上、協会における相談事業の在り方について具体的に精査をし、実行したいと考えております。

2021 年度は、支援の必要な外国人につながるこどものため、行政、教育関係又は関係団体等と連携し、より強い体制を整えたいと考えております。

2020 年初頭から始まったコロナウイルス感染が、現在も収束しておりません。2020 年度には、当初の計画と事業形態を変えて実施してきたものも多くあります。このようなことから、2021 年度も状況に対応するため、つくば市からの補助金を柔軟に使っていきたいと思っております。

2021 年度は、今までの活動を踏まえ一部事業を見直し、下記3点を重点目標として取り組みます。

1 市民に協会を知ってもらいます。

これまで、当協会では、多くの事業を手掛けて来ましたが、残念ながら「知る人ぞ知る」協会となっており、誰もが知る協会とは、大きくかけ離れた状況になっておりました。これらの現状から脱却するために、いくつかの方法を検証、実践します。

2 外国につながるこどもの支援をします

つくば市において日本語支援が必要な児童生徒は 215 人(2020 年 5 月 1 日現在)であり、茨城県全体の 50%以上が市内小中学校に在籍しています。日常会話だけでなく知識を学ぶための言葉の力を身に付ける必要がありますが、長期間にわたる丁寧な関りが必要です。また、学齢期を超えたこどもが学ぶ機会も少ない状況にあります。これらの課題に対応するため、(仮称)放課後日本語クラスを開催します。

3 協会の経営を見直します

2020 年度コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収益事業が大きな打撃を受けました。当初計画していたビジネスモデルは収益が当初の予定の 5 分の1にしかならず大幅に予定を下回り危機的状況になりました。これらのことから、経営の見直しを行います。

2. 2021 年度 事業概要

基本方針

多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事により、国際感覚にあふれた人材の育成と国際拠点都市つくばに相応しい世界に開かれた地域社会の創造に寄与することを目的として、各種事業を実施する。

(1) つくば市国際交流協会 事業一覧表

(ア) 国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)	
1	日本語講座(大人向け) (ア) 日本語講座 (イ) 日本語ボランティア講師入門講座
2	こども日本語・就学進学支援 (ア) こども日本語指導者研修会(新規) (イ) プレスクール・プレクラス(拡充) (ウ) こども日本語勉強会(新規) (エ) こども日本語支援プラットフォーム会議
3	医療通訳ボランティア派遣
4	外国人のための相談室(見直し)
5	メディカル英会話講座
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
1	つくばフェスティバル(国際交流フェア)
2	文化交流 (ア) 世界お茶のみ話 (イ) 日本・外国文化体験 (ウ) 世界のうまいもんをつくばで
3	おもてなし英会話(英語観光ガイドボランティア募集は継続)
4	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
5	シティチャットカフェ
6	姉妹友好都市交流事業
7	他団体との協働・連携
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)
2	賛助会員募集

(イ) 旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

(2) 事業詳細

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 日本語講座(大人向け)

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、教室運営を日本語ボランティア講師(TIVONAの会)にお願いし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン(Zoom)開催とした。

また、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座を開催した。

【実績】

(ア) 日本語講座

①クラス数：全8クラス(日本語1～3・日本語の会)

②期 間：前期(4月～9月、160回)、後期(10月～3月、160回)

③方 法：オンライン(Zoom)開催

④受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	104名	23名
後 期	127名	34名
合 計	231名	57名

⑤参加費：無料

(イ) 日本語ボランティア講師入門講座

①期 日：2021年11月18日、25日、12月2日、9日(全4回)

②講 師：井上里鶴(りず)氏 茨城県日本語教育アドバイザー、
TIVONAの会

③対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人

④方 法：オンライン(Zoom)開催

⑤参加者：20名

⑥参加費：2,500円

2 こども日本語・就学・進学支援

【概要】

外国につながるのあるこども達の日本語指導及び就学・進学支援を行うため、日本語指導者研修会や就学・進学ガイダンスを行うプレスクール・プレクラス等を関係団体と連携して実施する。

【実績】

(ア)こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、2回の座学と、2回の実習を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実習の一部は2022年度に延期になった。

- ①開催日：2021年7月10日～9月10日(うち4日間)
- ②場 所：つくば国際会議場及び、つくばスタートアップパーク内
- ③参加者：27名
- ④参加費：2,000円

(イ)プレスクール・プレクラス(小中学校・高校ガイダンス 日本語力チェック)

つくば市教育委員会から委託を受け、プレスクール・プレクラスを2回開催し、小中学校及び高校進学ガイダンスと、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを実施した。

第1回

- ①開催日：2021年8月21日、28日
- ②場 所：オンライン開催(Zoom)
- ③内 容：日本語学習
小中学校ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④参加者：日本語学習1名、ボランティア1名
小中学校ガイダンス3家庭、通訳1名、スタッフ1名
高校進学ガイダンス1家庭、通訳1名、スタッフ1名
- ⑤対応言語：英語
- ⑥参加費：無料

第2回

- ①開催日：2022年3月12日
- ②場 所：つくばイノベーションプラザ
- ③内 容：日本語力チェックと日本語学習のアドバイス
小中学校ガイダンス、高校進学ガイダンス
- ④参加者：日本語関係：5名、通訳3名、スタッフ3名
小中学校ガイダンス：18家庭、通訳4名、スタッフ1名
高校進学ガイダンス：4家庭、通訳2名、スタッフ1名
- ⑤対応言語：日本語、英語、中国語、スペイン語、タイ語、ダリ語
- ⑥参加費：無料

(ウ)こども日本語勉強会

2021年度茨城県提案型共助社会づくり支援事業を受託した認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所との協働により、こども日本語勉強会を開催した。

- ①開催日：(前期)2021年4月20日～2021年10月15日(火曜日、金曜日)
(後期)2021年10月12日～2022年3月18日(火曜日、金曜日)
- ②回 数：クラス60回、日本語力チェック及び保護者面談9回、

緊急事態宣言による中止 7回

- ③対 象：(前期)：吾妻、春日、竹園地域の5年生以上高校生以下
(後期)：つくば市内の公立学校に通う5年生以上高校生以下
- ④参加者：18人(延べ605人、平均10.1人)(トルコ(日本)、エジプト、インド、スーダン、パキスタン、マレーシア、スリランカ、タイ、ペルー、日本(ドイツ))
- ⑤講 師：11人(延べ387人 平均6.9人)
- ⑥内 容： 講師は、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。また、定期的にミーティングを実施し、指導方法についてを講師間で共有した。
勉強会は、緊急事態宣言が発せられたため7回の中断があったが、オンライン学習(Zoom)を取り入れるなど柔軟に対応した。
- ⑦参加費：無料

(エ)つくばこども日本語支援プラットフォーム

市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有と情報交換を行い、具体的な活動に繋げていく機会を作ることを目的に実施した。

構成団体：筑波大学、筑波学院大学、風の会、つくば市教育委員会学び推進課、つくば市市民部国際交流室、当協会、NPO センターコモンズ (アドバイザー)

第1回

- ①開催日：7月19日(オンライン)
- ②内 容： つくば市の日本語学習要支援者の課題整理及び具体的な活動について議論した。

第2回

- ①開催日：12月27日(オンライン)
- ②内 容： こども日本語支援などに関する各団体の取組状況と課題を議論した。

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が医療機関を受診する際、母国語で安心して診察を受けられるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関の依頼に基づいて、医療通訳ボランティアを派遣した。

【実績】

派遣件数：8件(英語1件、中国語6件、スペイン語1件)

【参考】

2019年度から医療機関と医療通訳ボランティア派遣協定を締結し、費用の有料化を開始した。

筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、いちほら病院及び茨城県立医療大学付属病院の4医療機関と協定締結している。

派遣料：1回 3,000円

4 外国人のための相談室(2021年9月30日事業終了)

【概要】

つくば市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、在留資格・婚姻・行政手続き等の相談に対して、外国人生活相談員4名(英語2名/中国語2名)を配置し、相談業務を行った。

【実績】

- ①開催回数：25回(原則、毎週水曜日の10時から13時まで)
- ②相談者数：15名対応(英語15件)
- ③相談方法：対面8件、メール3件、電話4件
- ④相談内容：在留資格、出入国手続き、婚姻、運転免許、就労・雇用、健康・医療、子育て、家庭内トラブル、他
- ⑤相談料：無料

5 メディカル英会話講座

【概要】

医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についてのメディカル英会話講座を行った。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

- ①期日：11月3日(水・祝) 60分/回
- ②場所：Zoom利用によるオンライン講座
- ③内容：「薬の処方」・「内科」・「受付」・「産婦人科」の4科目
- ④参加者：延べ70人
(「薬の処方」17人・「内科」20人・「受付」21人・「産婦人科」12人)

B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

1 フェスティバル事業(国際交流フェア)

【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売)を通して、異文化の理解や交流を目的として開催する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

- ①**世界の料理を楽しもう** 講師8人・韓国大田広域市外国人統合支援センター
既存の協会HPから

子どもも作れる世界の料理

11か国（インドネシア、ウズベキスタン、カザフスタン、ジョージア、中国、ネパール、ブルガリア、リトアニア、ウクライナ、韓国、タイ）の13のレシピを紹介

実際に作った人に出来上がり写真を提供してもらい、その人たちに各国の雑貨をプレゼントした。応募13人、9人に送付

②世界の文化を見てみよう 発表者2人

モンゴルゲルの建て方紹介、あるブラジル高校生のくらしと思い、世界お茶のみ話バックナンバー

③世界お茶のみ話 講師1人

アルメイダ・ミCHEル（メキシコ）

④語学交流サロン 講師4団体

（TIVONAの会、日本つくば国際学院、SwiTつくばで国際交流しよう言語オタク部、アクノーつくば）個人参加1人

中国語、韓国語、ロシア語、スペイン語、ベトナム語、日本語 全10講座
参加者105人、講師等33人

2 文化交流

(ア)「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」(交流会)

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

期日	国名	講師	参加者数 ()は人数制限	YouTube 閲覧数 (2022年 3月31日時点)
2021年 4月17日	フィリピン	レイモンド エスクデロ	16名(20名)	1,412回
5月15日	メキシコ	アルメイダ ミCHEル	無観客 オンライン開催	400回
6月19日	キルギス	ボロトベック クズ サ イカル	17名(20名)	217回
7月17日	ロシア【中継】	レナ ミカイロヴァ	17名(20名)	185回
8月21日	ウズベキスタン	ユリダーシェヴァ ノジ マ	延期	-
9月18日	トルコ	カフラマン 菜奈恵	無観客 オンライン開催	306回
10月16 日	中国	ゴ シショウ	6名(20名)	378回
11月20 日	ヨーロッパ一周バ ックパッカー1人旅	難波 祐治	12名(20名)	1,807回
12月18 日	つくばインターナ ショナルスクール	TISの生徒の皆さん	17名(20名)	216回
2022年 1月15日	ウズベキスタン	ユリダーシェヴァ ノジ マ	16名(20名)	245回

2月19日	ウガンダ	カソジ マイケル	8名(10名)	168回
3月19日	リトアニア【中継】	瀬戸 はるか	10名(10名)	72回

新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を講じている。また、感染状況に応じ無観客開催を併用した。2020年8月から開始したYouTubeの配信は継続的に行っており、4月フィリピン編、11月ヨーロッパバックパッカー1人旅編の再生回数は1000回を超えている。8月のウズベキスタン編が延期となったが、1月に開催することができた。7月のロシア編及び3月のリトアニア編は、現地と中継を繋げて開催した。

※新型コロナウイルス感染防止対策

- ・人数を制限しての実施(20名又は10名)
- ・飲食の提供を中止
- ・座席の十分な間隔を確保
- ・参加者の検温や体調の確認
- ・マスク着用、アルコール消毒の徹底
- ・いばらきアマビエちゃんの登録

(イ) 日本・外国文化体験

SNSを活用した料理教室の実施

【概要】

現在、HPに公開している「こどもも作れる世界の料理」の一環で、キルギス料理の動画を撮影し、協会HPやYouTubeにて紹介した。

【実績】

- ①期 日：1月22日
- ②場 所：春日交流センター調理室
- ③講 師：ボロトベック クズ サイカル氏
- ④内 容：キルギス料理「ディムラマ」の調理を動画撮影、編集して、HP等で紹介する。

(ウ) 世界のうまいもんをつくばで

【概要】

つくば市中心地区(TXつくば駅の近く)がにぎやかになるように、外国人との文化交流を図ることを目的として、ランタンアートに合わせて開催する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 おもてなし英会話

【概要】

つくば市に訪訪する外国人観光客やつくば市在住外国人に、シンプルな英語表現を用いて相手の立場に立った案内ができるよう「おもてなし英会話」講座を行った。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

【実績】

- ①期 日：11月20日、12月4日 全2回、各日1時間
- ②場 所：Zoom利用によるオンライン講座

③参加者:11月20日24人、12月4日22人

④参加費:無料

4 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介、ボランティア派遣

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

【実績】

①通訳:0件

(茨城県立荃崎高等学校保護者面談、タガログ語依頼1件有、該当者なし)

②翻訳:2件(つくば市ライフプランすこやか2021版、英語・中国語)

※他、つくば市国際交流室からの依頼に基づき、翻訳者3名を推薦した。(韓国語、ポルトガル語、スペイン語、各一名)

③ホームステイ:0件

④文化紹介:0件

※二の宮保育所からサンタクロース派遣依頼があったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から派遣を見合わせた。

5 シティチャットカフェ

【概要】

筑波大学および協会の共催事業としてオンラインにて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加、一班4人程度のグループに分かれ英語や日本語でフリートーキングを行った。

【実績】

①開催回数:年14回

②場所:Zoom 利用によるオンライン開催

③参加者:各回20～25人程度

④参加費:無料

6 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う両国の青少年達が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来に両国の懸け橋となることを目的に実施する予定だったが、コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期した。

交流活動の継続のため、新たな取り組みとしてオンライン(Zoom)を使い、工作及び料理による交流を実施した。

【実績】

期日	タイトル	内容	参加者
11月17日	ホジャギ	コースター作り	12名
11月27日	料理	タッカルビ、海苔ナムル	12名
12月4日	ハンジ工芸	韓紙を使ったティッシュ箱作り	14名
12月11日	料理	海鮮チヂミ、大根のセンチェ	12名

7 他団体との協働・連携

(ア) やさしいにほんごで考えましょう 地震と防災

【概要】

子どもを育てている外国人を対象に、地震が起きた時にどうするか、又はどのように地震に備えるかなどについて、「やさしい日本語」を使って解説した。

【実績】

- ①期 日:9月11日
- ②場 所:オンライン(Zoom)
- ③講 師:水谷浩子氏(防災士)
- ④参加者:34人、スタッフ:7人
- ⑤主 催:筑波大学社会貢献プロジェクト にほんごでおしゃべり!プロジェクトチーム
- ⑥共 催:つくば市国際交流協会
- ⑦後 援:つくば市、つくば市教育委員会

(イ) つくばワールドフットサル 2021

【概要】

スポーツによる国際交流を図るため、つくば市など様々な団体による実行委員会で実施し、協会は、登録のある外国人を中心に参加者を募り、主にイベント会場内の飲食ブースの運営を担う。

【実績】

コロナウイルス感染拡大防止のため中止

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)

1 ニーズ調査ホームページ、facebook、Link! 発行・

(ア) ホームページ・facebook

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、可能な限りリアルタイムに情報を発信する。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

(イ) Link! 発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載した。

【実績】

発 行 : Link! 第13号(2021年11月)及び第14号(2022年3月)を発行。

発行部数 : 各号、1,500部

配布先 : 賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。

(ウ) ニーズ調査(座談会)

【概要】

外国人のニーズ把握が難しいことから、国別や職業、年代別に集まっていただき、率直な意見を伺うことで、協会事業の計画立案への参考資料とすることを目的に実施する。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

なお、市国際交流室で実施した外国人意識調査の結果も踏まえ、事業計画に反映していくこととする。

2 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持する。

【実績】

個人会員：131口、 団体会員：1口、 法人会員：2口

会費合計：312,000円

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

【概要】

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図る。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移

(単位:件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10年	5年	12歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R2 (2020)	1,075	288	139	790
R3 (2021)	1,048	311	217	834

※ R3 (2021)年度も、前年同様、新型コロナウイルスの影響により、旅券申請者が大幅に減少したことから、販売等収入が2019年度比の約8割減となっている。